

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| No | 事業の名称 | 事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 (千円) (決算 額) | 臨時交付金 (千円) | 事業実績 | 効果・検証・課題等 |
|----|---------------|---|----------|----------|---------------------------|---------------|--|---|
| 2 | 温泉施設応援事業 | ①②公衆浴場として、社会的に欠かすことのできない町立温泉施設(指定管理施設)について、新型コロナウイルス感染症の影響により来客数が減少していることから、事業継続を支援するための給付金を支給する。 ・特定事業者等支援公表用URL: https://www.town.sakaki.nagano.jp/www/index.html ・公表内容:支援額、事業内容等 ③R元年度売上からの減少額×1/2×1事業者 40,000千円(国R2予算活用分38,471千円) ④指定管理者 | R3.4 | R4.3 | 38,471 | 35,471 | | |
| 4 | 教育施設等感染防止強化事業 | ①幼児小中学校、児童館等の手洗い等の自動水栓化により感染予防を強化するとともに、感染予防グッズを充実させ、子どもたちが安心して生活できる環境を整える。 ②自動水栓化工事費、感染予防備品購入費 ③・自動水栓化工事100千円×20箇所=2,000千円 ・備品購入費(アルコールスタンド、パーテーション等)700千円 ・消耗品費(マスク、消毒液等)300千円 ④幼児小中学校、児童館等 | R3.12 | R4.3 | 3,000 | 176 | 施設内感染者数 0人 | 施設の感染防止対策備品等の整備により、施設を安全に利用できる環境を整えた。 |
| 5 | バラ公園内の安全確保等事業 | ①ばら祭りは中止したものの、例年シーズンには多くの来園者がさかき千曲川バラ公園を訪れるため、来園者の安全確保を目的に、3密を避ける案内・交通誘導を行うほか、3密を避け、来園を控える方向けにPR動画を作成する。 ②③・バラ公園交通誘導警備委託 (@19,800円/人【税込】×6人×4日分、 @19,800円/人【税込】×5人×2日分) ・バラ公園PR動画制作委託(166,800円) ④さかき千曲川バラ公園 | R3.5 | R3.7 | 840 | 673 | | |
| 6 | さかきのお店応援券事業 | ①②地域のお店などの利用促進を図るとともに消費喚起を促すため、町内加盟店で利用可能な応援券1人2,000円分を世帯人数分、世帯主に交付し、利用実績に応じ店舗等に換金する。 ③・非常勤職員人件費 1,163千円 月報酬:7月~3月 9:00~16:00 1,020千円 期末手当:1ヶ月 120千円 通勤手当:7月~3月23千円 ・消耗品費 100千円(プレインターナー、紙他) ・印刷製本費 812千円(応援券、チラシ他) ・通信運搬費 1,644千円(応援券、事業所郵送代) 応援券郵送代6,200世帯:1,575千円 事業所周知及びびポスター等郵送:69千円 ・応援券補助 30,000千円(15,000人×2,000円/人) ④町、町内商業・飲食店等 | R3.7 | R4.3 | 33,719 | 28,861 | 応援券換金総額 25,615千円 応援券換金率 88.5% 利用可能加盟店舗数 95店舗 | 多くの町民が応援券を利用し、コロナの影響を受ける町内事業者を支援することができた。 |

| No | 事業の名称 | 事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 （千円） （決算 額） | 臨時交付金 （千円） | 事業実績 | 効果・検証・課題等 |
|----|----------------------------|--|----------|----------|---------------------------|---------------|---|--|
| 7 | ねずこん生誕10周年スタンプラリー等消費回復応援事業 | ①町内飲食店などの事業所や観光施設の利用促進と誘客を図るため、町内商業店舗等を回るスタンプラリーの実施及び観光施設等へ回り参加できるカードラリーの実施など、賑わいの創出と消費回復を図る。 ②③・委託料 4,700千円(消費回復応援事業業務委託) 臨時職員人件費430千円、需用費(消耗・印刷等)340千円、周知等郵送費134千円、換金2,005千円、記念品576千円、アプリ開発等委託料400千円、一般管理費388千円、消費税427千円 ・消耗品費 50千円(周知用商品) ・印刷製本費 550千円(カート等印刷) ④町(一部委託事業により実施) | R3.7 | R4.3 | 5,300 | 5,209 | 商品券発行総額 2,073千円 商品券換金率 97.5% 利用可能加盟店舗数 91店舗 | スタンプラリー及び商品券の利用により、コロナの影響を受ける町内事業者を支援することができた。 |
| 8 | 雇用調整助成金等申請支援補助 | ①②新型コロナウイルス感染症の影響を受け、従業員等の雇用の維持を図るため、国の雇用調整助成金等の助成を受けようとして、その申請書作成に係る業務を社会保険労務士に委託し、支払った経費に対して補助をする。 ③補助金 100千円×10事業所 ④雇用調整助成金等申請企業 | R3.5 | R3.8 | 1,000 | 48 | 助成金給付件数 1件 助成金給付総額 48千円 | 助成金により、コロナの影響を受ける町内事業者を支援することができた。 |
| 9 | 飲食店等新型コロナウイルス感染防止対策補助 | ①②町内飲食店等が長野県新型コロナ対策推進宣言を行った上で実施する、事業所の感染予防対策に必要な予防対策製品や設備等の導入などに係る費用の一部を補助する。 (基本的対処方針(令和4年1月25日変更)13ページ(4)感染防止策) ③補助金 100千円×75事業所 ④町内商業・飲食店等 | R3.7 | R4.3 | 7,500 | 6,411 | 助成金給付件数 73件 助成金給付総額 6,411千円 | 助成金により、コロナの影響を受ける町内事業者を支援することができた。 |
| 10 | さかきテクノセンター新型コロナウイルス対策事業補助 | ①②新型コロナウイルス感染症が拡大している中、町内企業では自社で行う研修やセミナー、技術相談や販路開拓など、人が大勢集まるイベントについて、自社内ではコロナ対策(3密回避、広い会場やオンライン機器等の確保など)を施した上での実施が難しいことから、当施設の利用が新型コロナウイルス感染症の拡大とともに増えており、維持管理費等が増額となる見込みである。また、当施設自体の事業実施においても同様に感染防止対策が必要であるため、新型コロナウイルス対策に係る経費について補助を行う。 ③補助金 3,000千円 (公財)さかきテクノセンター補助 ・エアクラスター 10台 1,050千円 ・空気循環式除菌機 2台 309千円 ・アクリルパーテーション 10枚 63千円 ・WEBホスト用パソコン 3台 975千円 ・WEB操作用パソコン 3台 465千円 ・WEBカメラ 3台 138千円 ④(公財)さかきテクノセンター | R3.7 | R4.3 | 3,000 | 2,659 | テクノセンター利用者数 6,346人 | 施設の感染防止対策備品等の整備により、施設を安全に利用できる環境を整えた。 |

| No | 事業の名称 | 事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 （千円） （決算 額） | 臨時交付金 （千円） | 事業実績 | 効果・検証・課題等 |
|----|---|---|----------|----------|---------------------------|---------------|--------------------------------|------------------------------------|
| 11 | 中小企業対 策事業(保証 料補給金) | ①②新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい経営環境にある町内中小企業等が融資を受ける際の保証料の補給を行う。 ③県信用保証協会 保証料補給 町制度資金 50件×100千円=5,000千円 県制度資金 25件×420千円=10,500千円 ④町内中小企業等 | R3.4 | R4.3 | 15,300 | 5,283 | 助成金給付件数 63件 助成金給付総額 6,010千円 | 助成金により、コロナの影響を受ける町内事業者を支援することができた。 |
| 12 | 中小企業対 策事業(利子 補給金) | ①②新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい経営環境にある町内中小企業等が融資の返済の際に支払う利子分を補給する。 ③町制度資金利子補給 50件×20千円=1,000千円 ④町内中小企業等 | R3.4 | R4.3 | 1,000 | 213 | 助成金給付件数 36件 助成金給付総額 213千円 | 助成金により、コロナの影響を受ける町内事業者を支援することができた。 |
| 13 | 中小企業や 農業者への 支援(利子補 給基金積立 分) | ①②町制度資金(新型コロナ対策)で、町が利子補給を行う貸付後5年以内の2年目以降の利子補給分を基金に積立て、年度毎に必要な金額を繰り出し利子補給を行う。 ③・中小企業 50件、5年間分 3,000千円 ・農業者 50千円×0.2%×1件=10千円 ④町内中小企業、農業者 | R3.4 | R4.4以降 | 3,010 | 1,308 | 借入件数 36件 | 助成金により、コロナの影響を受ける町内事業者を支援することができた。 |
| 16 | 成人式中止 に伴う代替事 業 | ①新型コロナウイルスの影響による成人式中止に伴い、新成人へ記念品を送付し式の代わりとする。 ②記念品他郵送代 ③物品発送(成人式記念品他) 500円×300通=150千円 ④町(町から新成人へ郵送) | R3.8 | R3.9 | 150 | 78 | | |
| 20 | 公園感染防 止パンフレッ ト作成事業 | ①不特定多数の人が利用する町内都市公園において、感染防止の周知のためのパンフレットを作成・付置し、感染予防に努める。 ②③需用費(印刷製本) ・びんぐしの里公園/パンフレット(A3、カラー、2つ折り) @50円×5,000部×1.1=275千円 ・和平公園/パンフレット(A4、カラー、3つ折り) @25円×5,000部×1.1=137,500円 ・その他公園/パンフレット @25円×5,000部×1.1=137,500千円 ④町内都市公園 | R3.10 | R4.3 | 550 | 550 | | |

| No | 事業の名称 | 事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 （千円） （決算 額） | 臨時交付金 （千円） | 事業実績 | 効果・検証・課題等 |
|----|--------------------------------|---|----------|----------|---------------------------|---------------|--------------------------------|------------------------------------|
| 21 | 中小企業等 事業継続支 援金事業 | ①②新型コロナウイルス感染症の第4波、第5波などの影響を受ける町内中小企業者の事業継続と経営の回復・安定のため、事業全般に広く使える支援金の給付を行う（1事業者上限200千円）。 ③補助金 200千円×100事業所 ④町内中小企業（以下条件を満たす者） ・町内に本社又は本店があり、令和3年4月から9月まで営業をしていること。 ・令和3年4月から9月までのいずれか1か月の売上げが、前年又は前々年同期比で30%以上減少していること。 ・国の月次支援金及び県の特別応援金を受給していないこと。 ・県が推進する新型コロナ対策推進宣言の実施、又は、信州の安心なお店の認証を受けていること。 ・引き続き1年以上事業を継続する意思があること。 ・町税に滞納がないこと。 | R3.10 | R4.2 | 20,000 | 6,735 | 助成金給付件数 36件 助成金給付総額 6,735千円 | 助成金により、コロナの影響を受ける町内事業者を支援することができた。 |
| 22 | 農産物加工 施設感染防 止対策事業 | ①びんぐしの里農産物加工センターにおいて、感染防止対策（換気機能向上）のための空調改修工事を行う。 ②工事請負費 工事一式 3,200千円 ③ウイルス抑制機能付空調機器 2,200千円 他接統資材等 259千円 工事代 450千円 消費税 291千円 合計 3,200千円 ④びんぐしの里農産物加工センター | R4.2 | R4.3 | 3,200 | 2,013 | | |
| 23 | しなの鉄道軌 道安全輸送 設備等整備 事業 | ①町内に2駅を持つしなの鉄道株について、新型コロナウイルス感染症の影響により業績が悪化していることから、沿線自治体と共同で負担金を支出することにより、同社が実施する車両検査を支援する。 ②しなの鉄道軌道安全輸送設備等整備負担金 1,670千円 ③32,129千円（沿線市町負担額）×5.2%（坂城町負担割合） =1,670千円 ④しなの鉄道株式会社 | R3.4 | R4.3 | 1,670 | 1,465 | | |
| 24 | 地域交通経 営継続支 援金事業 | ①地域交通を支える交通インフラであるタクシーが、新型コロナウイルス感染症の影響により壊滅状態とならないよう、事業者に対して支援を行う。 ②地域交通経営継続支援金 1,000千円 ③事務所運営費用 500千円 車両整備費用 100千円×5台=500千円 ④乗り合いタクシー運行事業者（ひしこタクシー株） | R4.3 | R4.3 | 1,000 | 1,000 | | |

| No | 事業の名称 | 事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 （千円） （決算 額） | 臨時交付金 （千円） | 事業実績 | 効果・検証・課題等 |
|----|--------------|---|----------|----------|---------------------------|---------------|------|-----------|
| 25 | 温泉施設応 援事業 | (NO.2事業のうち国R3予算活用分) ①②公衆浴場として、社会的に欠かすことのできない町立温泉施設(指定管理施設)について、 新型コロナウイルス感染症の影響により来客数が減少していることから、事業継続を支援する ための給付金を支給する。 ・特定事業者等支援公表用URL: https://www.town.sakaki.nagano.jp/www/index.html ・公表内容: 支援額、事業内容等 ③R元年度売上からの減少額×1/2×1事業者 40,000千円(国R3予算活用分1,529千円) ④指定管理者 | R3.4 | R4.3 | 1,529 | 1,529 | | |

※内閣府地方創生推進室 による「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証について(依頼)」によるアンケートの対象となった事業のみ評価を行っております。